



## 今年もよろしくお祈いします

遅ればせですが、明けましておめでとうございします。昨年はおくの方から図書館の活動についてお褒めのことばをいただいたり、ご意見や励ましのお言葉をいただきました。本当にありがとうございしました。2018 年も多くの方に楽しんで利用していただけるような図書館を目指してまいります。本年も大館市立図書館をよろしくお祈いいたします。

### ❖松の内はいつまで？

私、いわゆる「松の内」は7日までだと思っていたのですが、地方によっては10日までや15日までだったりするようですね。調べてみると、松の内が7日までになったのは江戸時代からのようです。一説によれば、元々は小正月である15日までを「松の内」、20日に「鏡開き」としていたのが、三代将軍家光の月命日である20日に鏡開きをすることを避けるために「7日までが松の内」「11日に鏡開き」となったとか。同時に「左義長（どんど焼き）」も禁止されているので、大火を防ぐ意味もあったとされているようです。また、実際に明暦の大火が1月18日から20日までの3日間に起きているため、燃えやすい注連飾りなどは早めに片づけるようになった説や、本来は民俗学的には年越し行事は12月半ばの「煤払い」から始まっている、注連縄や門松で迎えた歳神を小正月行事の「左義長」で焼いて、炎とともに見送るまでが一連の流れであるとか、焼くものも地方によってはダルマは焼かないなど、いろいろ興味が尽きないです。一方で、やはりこういった行事は年々早く終わる傾向にあるようで、一抹の寂しさを感じます。

### ❖おすすめの新美南吉作品

城西小学校4年生の皆さんが、国語の授業で勉強した『ごんぎつね』についてまとめてくれました。栗盛記念図書館の多目的室の掲示板に掲示しています。読んで心に残ったことや、作者の新美南吉の著作の中からおすすめしたい作品ベスト3をイラスト入りで紹介している力作です。めくって読めるようになっていますので、図書館にお越しの際はじっくり読んでみてください。2月頃までの掲示予定です。

### ❖落語で初笑い&ハチ公カフェでほっと一息

1月17日（水）の「ホッとタイム」は落語会です。場所をいつもの多目的室から松下村塾へ変えて、暁亭さんせきさんによる落語を高座の雰囲気たっぷりにお送りします。開演は13時から、参加無料です。

また、17日はラウンジにハチ公カフェがきてくれます。このカフェは比内支援学校の生徒さんが大町のハチ公小径で開いているお店の出張店で、本格的なドリップコーヒーが楽しめます。こちらは12時から14時までの予定です。ラウンジでコーヒーを片手にお昼を楽しみ、午後は落語で初笑い、いかがでしょうか。

❁文学講座が始まります

1月から文学講座「徒然草を読む」が始まりました。元大館鳳鳴高校校長の菅原明雅さんを講師に迎え、毎月第2、第4木曜日に栗盛記念図書館で開催します。資料代（月額500円程度）と、必要な方はテキスト代をいただいています。テキストは岩波文庫の『新訂徒然草』です。途中からの参加や退会もできますので、興味のある方は栗盛記念図書館までお問い合わせください。

❁利用者アンケートにご協力ください

大館市立図書館のご利用に関するアンケートを、1月16日から行います。用紙は各図書館で配布または設置しますので、お立ち寄りの際はお手数ですが回答にご協力をお願いします。アンケートの実施は2月18日までを予定しています。集計した結果は後日館内に掲示し、市立図書館の事業と業務の改善に活用させていただきます。（栗盛・成）